

## 20 利用者募集活動 自立支援局事業公開の取り組みについて

総合相談支援部総合相談課 松橋次郎 後藤幸雄 菅原美杉 鈴木理子 田代優子 高木舞子

### 1 はじめに

自立支援局では利用者定員充足率の向上を図るため、①関係機関への郵送による募集活動、②関係機関訪問による募集活動、③自立支援局事業公開の実施、④関係機関主催会議等への参加、⑤広報関係資料の精査を基本方針とし、各課共同で利用者募集活動に取り組んでいる。ここでは、平成23年度から開始した自立支援局事業公開の取り組みについて報告する。

### 2 取り組み状況

利用者募集活動は以前から自立支援局各課において独自に取り組まれていたが、平成23年度に、自立支援局が一体となって募集活動に取り組むとの方針が示され、その一つとして「自立支援局事業公開」を実施することに至った。

事業公開の主な内容としては、各事業の担当者による訓練内容の説明、訓練場面と宿舎の見学、質疑応答、意見交換、個別相談としており、自立支援局の紹介とともに参加者との情報交換等を行っている。

実施回数は平成23年度は1回、平成24年度と平成25年度は3回とし、参加者数は平成23年度は35名（35機関）、平成24年度は92名（86機関）、平成25年度は171名（126機関）であった。参加者の所属は、市区町村福祉事務所、ハローワーク、相談支援事業所、病院、保健所、特別支援学校等であった。

各事業をより深く理解できるよう少人数で見学することを特徴としているが、平成25年度からは参加者がもっとも関心のある事業を選択して見学できるように、複数の見学コース（自立訓練、就労移行支援、養成施設、全事業の4コース）を設けるなど、アンケートをとりながら、参加者の要望に応えられるよう内容の検討を行っている。

質疑応答や個別相談の時間では「高次脳機能障害者の障害認知についてどのように支援しているか」、「就労移行支援利用者が訓練終了後に地元へ戻る際の地域機関との連携方法は」など具体的な内容について質問が挙がり、各事業の訓練に対する関心の高さや、参加した方々も日々試行錯誤しながら業務を行っている様子が窺えた。

アンケート結果では「これまではどのような施設かよく分からず敷居が高いイメージがあったが、見学してイメージがもてたので対象者に利用を勧めてみたい」、「今後対象者へ紹介していくため自立支援局をよく知りたいとの目的で参加した」というコメントを多くいただいております、事業公開が自立支援局の広報や利用者募集活動に有効であると考えています。

### 3 まとめ

事業公開を含め、現在の利用者募集活動が利用者定員充足率の向上にどの程度効果があるか精査を行う必要はあるが、自立支援局を広報し、また、関係機関から自立支援局に対し寄せられる意見や要望を直接聞ける機会として、事業公開がより充実した企画となることを目指しながら今後も継続していきたい。